学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、様々な書体について理解し、体験することで、自分らしい文字を書くことができるようになることをめざします。
・授業では、「丁寧に書く」「きれいに書く」ではなく、実生活に寄り添った作品を制作することを通して「どのような作品にしたいのか」を構想し、そのために「どのような工夫が必要なのか」を自身で考え、意図的に取り組む表現活動と鑑賞活動を並行して行います。
・評価方法は、各単元・毎授業での取り組みなどを観察することや、完成した作品および制作過程における試行錯誤の様子を制作カードなどから見取り、作品だけの出来映えだけでなく完成に至るまでの過程や理解度などを評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図りながら、様々な創作活動を通して効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫することを通して、書の美を味わいながら様々な作品を表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】
　生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想して表 現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	(導入)書写と書道	・国語科書写と芸術科書道について	［共通事項］ a:知識 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 b: 国語科書写と芸術科書道にどのような違いがあるかを考え理解している。 c: 芸術科書道の学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述	・ワークシートの記述	・ワークシートの記述
	漢字の書	書体の変遷	a:知識 日本および中国等の文字と書の歴史と文化、漢字の書体の変遷について理解している。 c: 漢字の書体の変遷に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述		・取り組みの様子
		〈篆刻〉 ・名印制作 (一字印／ 白文 or 朱文)	［共通事項］ a:知識 篆刻の線の美や、刻し方による趣の違いを味わい理解している。 a:技能 書体の字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 書体の字形や構成について構想し工夫している。 c: 主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	・制作カードの記述	・成果物 (六分印)	・制作カードの記述 ・取り組みの様子
		〈楷書〉 ・さまざまな線質による表現① 「九成宮醴泉銘」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」	［共通事項］ a:知識 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c: 楷書のよさや美しさを読みとり、楷書の表現の特質に基づく表現活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述	・成果物 (臨書作品)	・取り組みの様子 ・ふりかえり

一学期	漢字の書	〈行書〉 ・筆の弾力と筆の呼吸を知る	a:知識 筆の弾力や筆の呼吸に関心をもち、筆圧の違いや呼吸の長さによる表現の違いを理解している。 c: 主体的に筆の弾力や呼吸について関心をもち、積極的に表現方法を学ぼうとしている。	・ワークシートの記述		・取り組みの様子 ・ふりかえり
		〈行書〉 ・さまざまな線質による表現② 「蘭亭序」	[共通事項] a:知識 行書の古典の書体や書風・用筆・運筆との関わりについて理解している。また、行書の古典から書体の特徴を理解し、捉えようとしている。 a:技能 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、行書の古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c: 主体的に古典を鑑賞し、その書風について理解し、そのよさを味わっている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述	・成果物 (臨書作品)	・取り組みの様子 ・ふりかえり
二学期	漢字の書	・コンクールに出品	[共通事項] a:知識 さまざまな古典の書体や書風、字形や用筆の特徴の違いについて理解している。 a:技能 さまざまな古典の字形や用筆などの特徴を捉え、書風を生かし表わしている。 b: さまざまな古典の基本的な用筆法方を理解し、表現を工夫している。 c: さまざまな古典の美とその表現技法について関心をもち、主体的に自身の表現活動に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述	・成果物 (出品作品) ・相互批評	・取り組みの様子 ・ふりかえり
		〈漢字の書 ―創作―〉	a:知識 楷書や行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 筆の弾力や呼吸を利用する用筆方法を身に付け、楷書や行書の古典の線質を生かした表現の技能を身に付けている。 b: 筆圧の違いや呼吸の長さによる表現の違いを理解し、楷書や行書の古典の書体や書風に即した表現方法を意図的に工夫している。 c: 楷書や行書の用筆・運筆、特徴などを理解し、自身の表現意図に応じた作品を主体的に創作しようとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述	・成果物 (完成作品) ・相互批評	・取り組みの様子 ・ふりかえり

二学期	仮名の書	・仮名の成立と変遷	［共通事項］ a:知識 仮名の成立と変遷について理解している。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述		・取り組みの様子
	仮名の書	・基本用筆 ・平仮名、変体仮名 ・連綿	a:知識 仮名の字源や連綿の効果などについて理解している。 a:技能 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法を身につけている。 b: 仮名の用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c: 主体的に仮名の書の表現の特質に基づく表現活動に取り組んでいる。また、自身の表現の意図に基づく表現の活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述		・取り組みの様子
		〈仮名の書-短文創作ー〉		・制作カードの記述	・成果物（仮名創作）	・取り組みの様子 ・相互批評
三学期	漢字仮名交じりの書	・著作権について考える	［共通事項］ b: 生活や社会における著作権について理解している。 c: 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		・ワークシートの記述	・取り組みの様子
		・古典の書風を生かした表現 ・仮名の古典における紙面構成	［共通事項］ a:知識 古典の書風における線質、字形等の要素と表現効果について理解するとともに、紙面構成による効果について理解している。 a:技能 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、落款の位置や周囲の余白も想定した全体の紙面構成と表現形式を意図に基づいて構想し工夫している。 c: 自身の表現の意図に基づく学習活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述	・	・取り組みの様子
		〈漢字仮名交じりの書ー創作ー〉		・制作カード	・成果物 ・相互批評	・取り組みの様子 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度